

米国 柑橘類の輸入業者は南半球産の季節に向けて準備中

[FreshPlaza 2024年4月11日](#)

米国国内の柑橘類の出荷シーズンはまだ最盛期であるが、ペルー、南アフリカ、チリはそれぞれの出荷シーズンに向けて準備を進めている。シエラ青果会社のマイルズ・フレイザー・ジョーンズ氏は、「それが輸入のタイミングを決めるため、誰もがカリフォルニア州で何が起こるかを予測しようとしている」と言う(以下「」は同氏の発言)。初期の兆候は、カリフォルニア州のマンダリンの出荷シーズンが5月末まで続くことを示しており、天候条件によっては6月の第1週または第2週まで続く可能性がある。「このタイミングはごく普通である。昨年は、6月になってもカリフォルニア州産のマンダリンがまだ店頭に並んでいた。」

ペルー

南半球では、ペルーが早生うんしゅうタイプのプリマソル品種の出荷を開始した。これは糖と酸のレベルは比較的だが、種なしの品種である。「出始めの果実を市場に持ち込むことの危険性は、市場を飽和させかねないことだ。それはすべて需要の強さにかかっている。完全な品切れにはしたくないが、市場に過剰供給することも望んでいない。そのため、ペルーからのプリマソルの輸出は来週か再来週まで待つことにした。」これにより、入荷は5月中旬になる。プリマソルと他のうんしゅうタイプに続いて、クレメンタインのクレメヌール品種が続き、今後2週間以内に出荷が開始され、5月末までに果実が市場に到着する予定である。

「ペルー産の柑橘類は、出初めには食味があまり良くないかもしれないが、出荷シーズンが進むにつれて品質が大幅に向上する。ペルーからマンダリンが出てくる頃には、食味は大変良くなっている。」ペルーは、概して昨シーズンと同程度の収穫量で通常の作柄を見込んでいる。

南アフリカ

南アフリカは、北米市場へのもう一つの重要な柑橘類供給国である。同国の生育条件は良好で、果樹は十分な水を得た。その結果、昨年よりも品質が向上する見込みである。「クレメンタイン、マンダリン、オレンジを合わせて見ると通常の作柄で、出荷量は昨年と同程度かそれより多いようだ。」クレメンタインの早生品種は、6月の第1週に米国市場に到着する予定である。約1カ月後にはオレンジが入荷し、その頃までには小玉のオレンジの需要が旺盛になると予想される。「これは、今年のカリフォルニア州産は大玉が多く、袋詰めでの販売やフードサービスにあまり適していないことと関係している。」

チリ

チリの柑橘類委員会は、クレメンタインとマンダリンの出荷量が35%減少すると予想している。「同国の北部は干ばつの影響を受けたが、出荷量がそこまで下がるかどうかはまだわからない。私が聞いているところによると、マンダリンとクレメンタインの供給不足を心配する必要はない。」チリ北部の産地から出荷される早生のクレメンタインは、5月末までに米国で入手できる見込みで、オレンジは7月末頃になる見込みである。

カリフォルニア州との競合

カリフォルニア州産が市場に出回っている限り、小売業者はカリフォルニア州産の果実を売り続けることを好むだろう。「カリフォルニア州産の果実は非常に高品質で、出始めの南半球の果実には太刀打ちできない。」米国内の出荷量が減ってくると、東海岸から輸入が始まり、徐々に西海岸に移動する。米国西部の小売業者は、産地に近いことから、カリフォルニア州産の柑橘類をできる限り長く提供しようとする。

執筆者: マリーク・ヘムズ